

# Windows 文書を大判カラープリンタに印刷する方法

花岡勝太郎，後藤英昭  
東北大学情報シナジーセンター

## 1. はじめに

本センターでは，大判カラープリンタ（ヒューレットパッカード社，DesignJet5500ps。以下 DJ5500ps）を設置しており，A0 サイズまでのポスターなどを 600dpi の高品質で出力することができます。このプリンタは，プリントサーバに接続されており，プリントサーバに Windows のパソコンで印刷ファイルを作り転送するようにすれば，PowerPoint スライドなどの Windows アプリケーションで作った文書や図表を A0 サイズまで拡大して出力することが可能になります。

DJ5500ps は，情報シナジーセンター本館 1 階の利用者入出力室にあります。利用時間は平日 9 時～21 時です。

本稿では，Windows アプリケーションから大判カラープリンタに出力するための印刷ファイルの作成方法についてご紹介します。印刷は，プリントサーバから行います。ホームディレクトリはファイルサーバ(file)と共通になっています。



## 2 . Windows アプリケーションから印刷ファイルを作成する方法

### (1) 本センターの利用者入出力室のパソコンの場合

MS-OfficeXP や Adobe Illustrator を利用することができます。これらのパソコンには、大判カラープリンタ用の印刷ドライバが導入済みですので、(3) の説明に従って印刷ファイルを作成します。

### (2) プリンタドライバの導入

研究室のパソコンで印刷ファイルを作成するためには、下記のようにしてプリンタドライバを導入します。

( OS : Windows2000/XP の場合 )

次の所在(URL)

[http://www.jpn.hp.com/CPO\\_TC/designjet/dj5500ps/sw\\_dj5500ps.htm](http://www.jpn.hp.com/CPO_TC/designjet/dj5500ps/sw_dj5500ps.htm)

から

hp デザインジェット HP-GL/2 ラスタ ドライバ for 日本語版 Windows 2000/XP の項目を選びます。

ドライバインストールファイルが表示されますのでそのファイル ( pl243\_jp.EXE ) を選び、ディスクに保存します。

OS が Windows98, WindowsNT の場合のインストール方法は、ドライバインストールファイルを解凍した、README.TXT ファイルに記載されています。

ダウンロードしたファイルを適切なディレクトリで実行します。

( 自動的に解凍されてファイルが出来ます。 )

Windows のスタート 設定 プリンタを選ぶとプリンタウィンドウがきます。その中でプリンタの追加を選びます。

プリンタの追加ウィザード ( 図 1 ) が表示されます。以下にウィザードの設定について説明いたします。

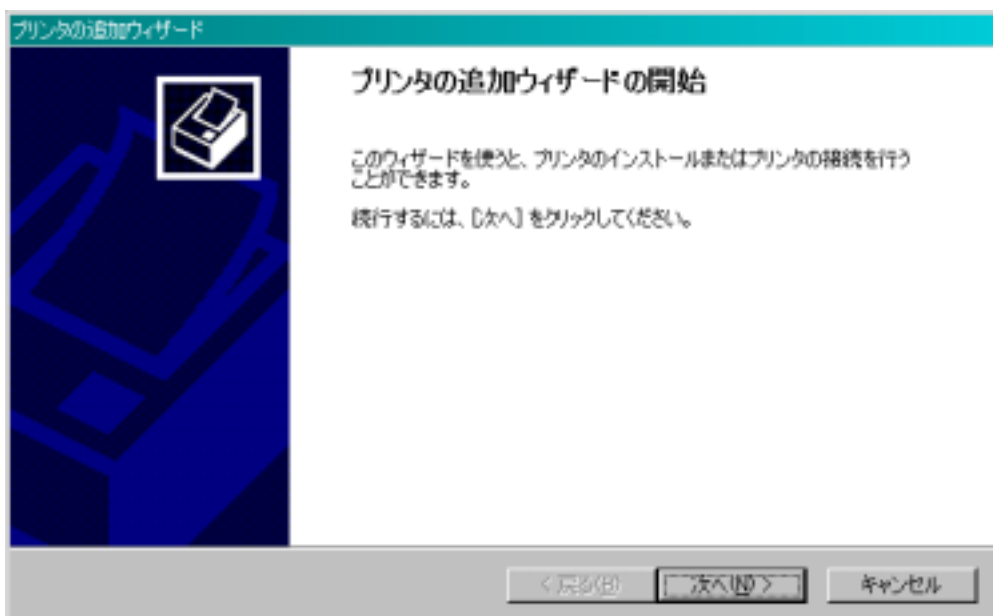


図 1

プリンタの接続については「ローカルプリンタ」を選びます。(図 2)

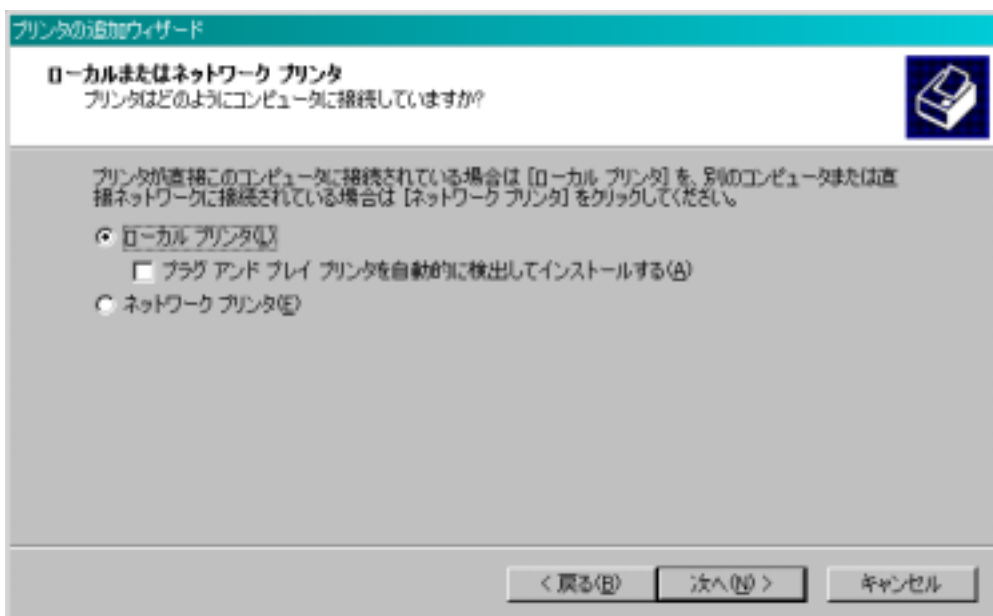


図 2

「プリンタポートの選択」は、「次のポートを使用」の中の「FILE: ファイル出力」を選択します。(図 3)

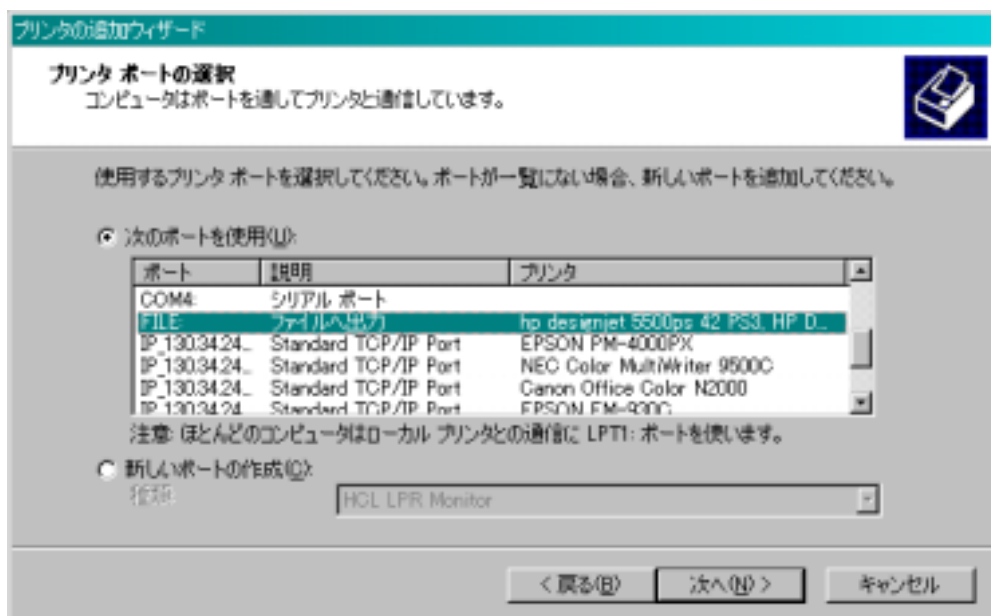


図 3

プリンタを選ぶウィンドウが出ますので、「ディスク使用」を選びます。(図4)

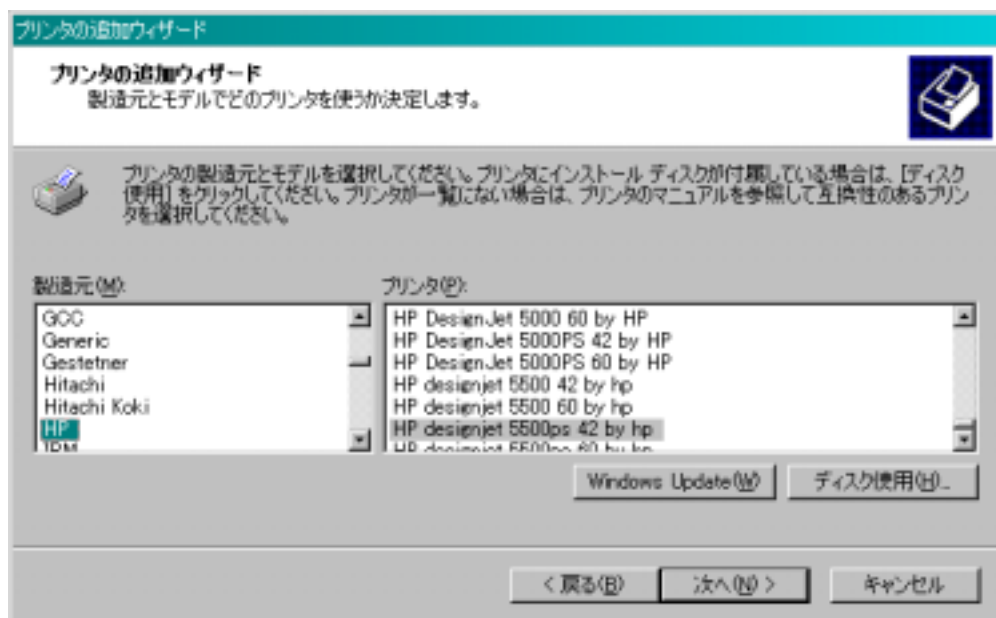


図 4

「フロッピーディスクからインストール」と表示されますので、「参照」を選びます。(図5)

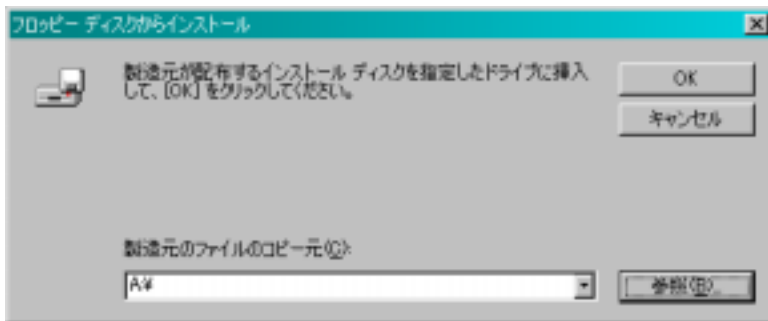


図 5

「ファイルの場所」が表示されますので、先程解凍したファイルがあるディレクトリを選び、表示されたファイルを選んで、開くを選びます。(図 6)



図 6

プリンタの一覧が表示されますので、「HP DesignJet 5500ps 42 by hp」を選び、「次へ」を選びます。(図 7)



図 7

登録するプリンタ名の指定は、表示されている名前を変更したいときは指定したいプリンタ名を記載してください。通常使うプリンタの指定は、「いいえ」を選びます。(図8)

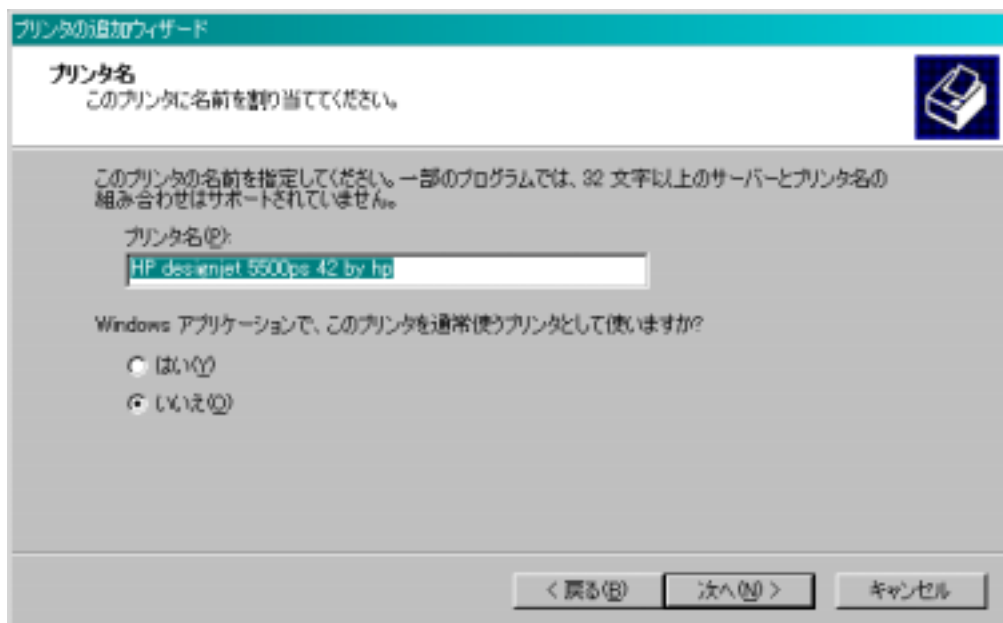


図 8

プリンタ共有は、「このプリンタを共有しない」を選びます。(図9)



図 9

テストページの印刷は、「いいえ」を選びます。(図10)

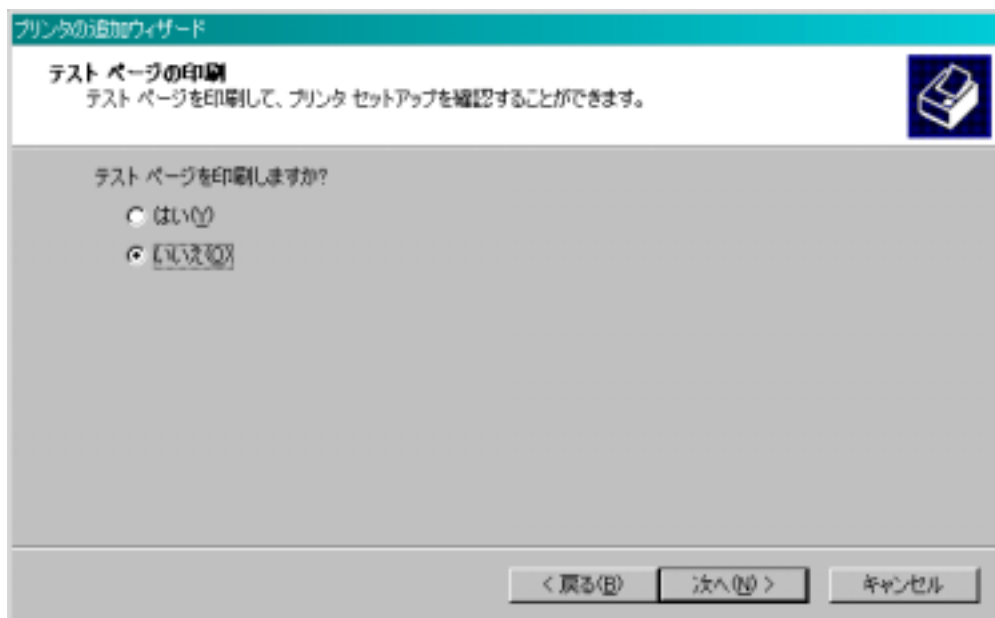


図 10

以上で設定は終了ですので、「完了」を選びますとウィザードが終了します。(図11)

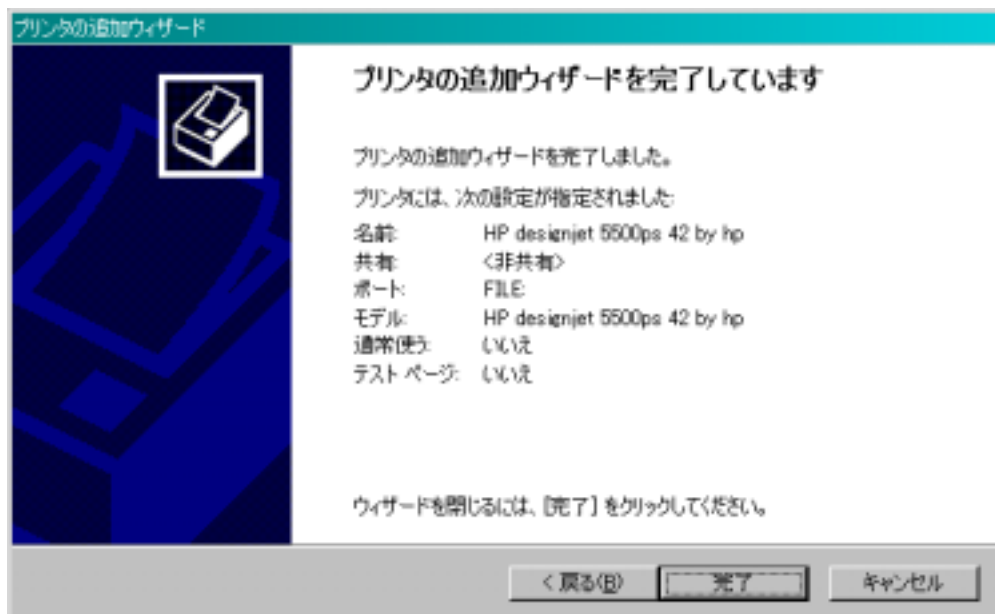


図 11

プリンタウィンドウに設定したプリンタのアイコン（プリンタとフロッピーの絵柄）が追加されているかを確認します。正しく追加されていれば解凍したファイルを削除しても構いません。

(3) Windows アプリケーションから印刷ファイルを作成する

MS-Word や PowerPoint などのアプリケーションで原稿を作り、通常のプリンタと同じように「印刷」を選びます。

印刷ウィンドウにあるプリンタの設定の中の「プリンタ名」で、設定したプリンタ名を選択します。設定確認のため、あるいは、印刷する大きさを変更するために、「プロパティ」を選びます。（図 1 2）

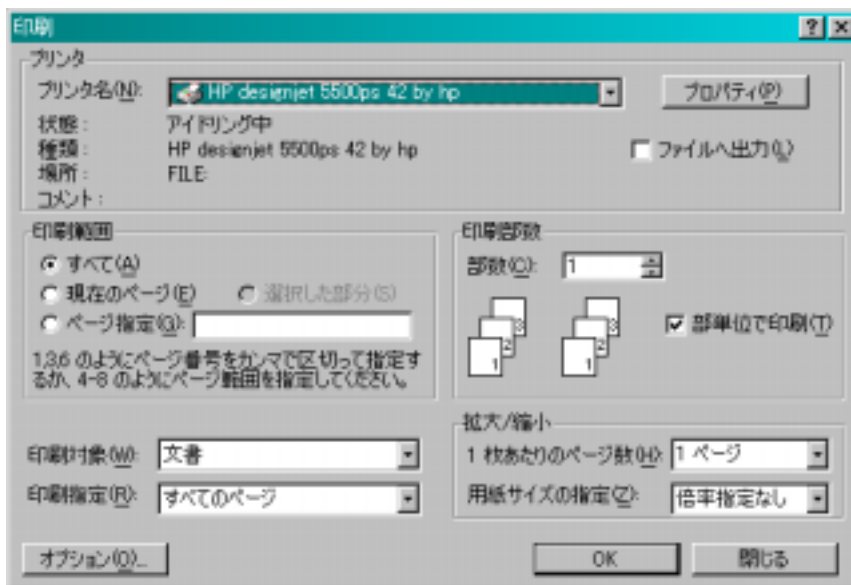


図 1 2

「用紙」の項目は、アプリケーションで設定した用紙サイズで、用紙の種類は、ロール紙の「A0 ロール紙」に、「印刷方向」は、アプリケーションで設定した用紙の向きにします。設定がよければ「OK」を選びます。印刷する用紙サイズと違うサイズで原稿を作成した場合は、「拡大/縮小」を選びます。（図 1 3）

用紙サイズには、アプリケーション（MS-Word, Power Point など）で設定した用紙サイズを指定します。ただし、ちょうどのサイズだと印刷した際に左右上下の画像がはみ出して切れることがあります。その場合は、以下の方法で対処してください。

サイズ指定のところで「用紙リストの編集」を選び、用紙サイズの 10% ほど大きいサイズに指定する。



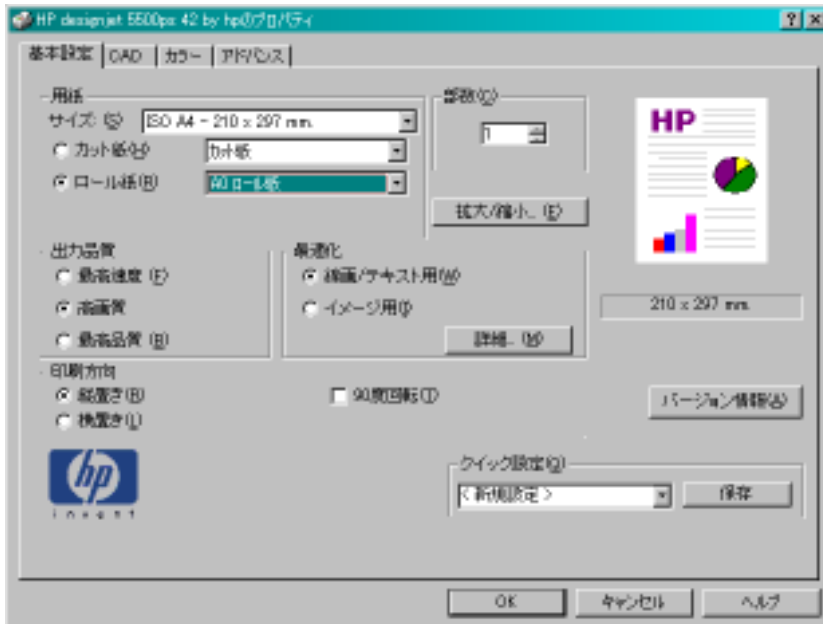


図 1 3

「Zoom Smart オプション」項目で、「指定したページサイズに合わせる」を選び、印刷したいサイズを指定して、「OK」を選びます。(図 1 4)

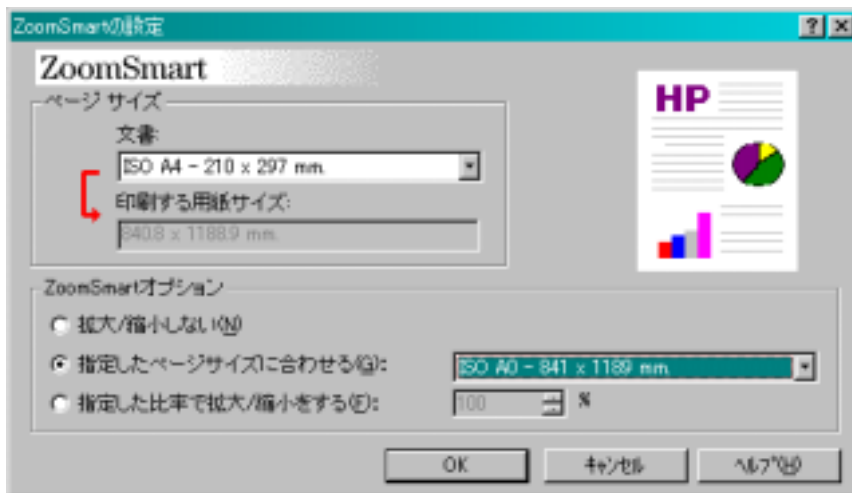


図 1 4

全ての設定が終了すると「印刷」ウィンドウに戻るので、そのウィンドウで「OK」を選ぶと、「ファイルへ出力」のウィンドウが表示されます。ここで印刷ファイルを置くフォルダ(デスクトップ,Temp など)を指定して、ファイル名を入力し、「OK」を選ぶと印刷ファイルが出来ます。(図 1 5)

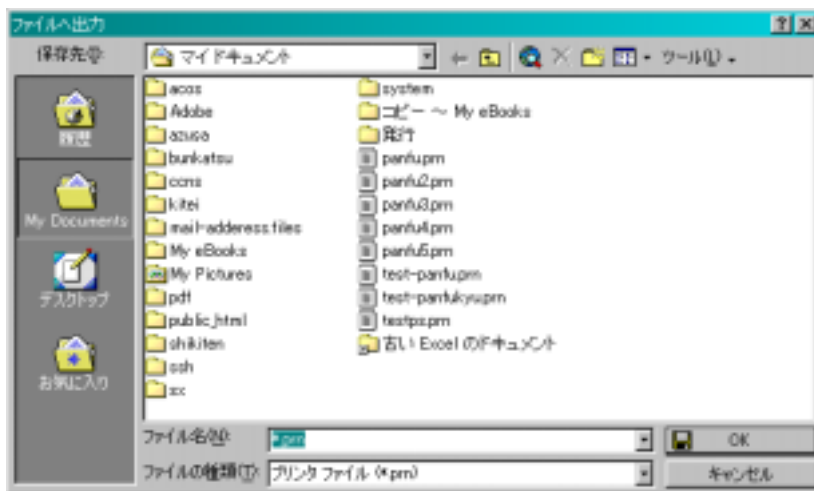


図 15

#### (4) 印刷ファイルをファイルサーバへ転送する

出来上がった印刷ファイルをファイルサーバ( [file.cc.tohoku.ac.jp](http://file.cc.tohoku.ac.jp) )に転送します。ファイル転送には、ftp や sftp などを使います。ファイル転送の操作方法については、大規模科学計算システムのウェブサイトなどをご覧ください。

大規模科学計算システムのウェブサイト <http://www.cc.tohoku.ac.jp/>

利用者入出力室のパソコンでは、FFFTP のソフトが利用できます。FFFTP のアイコンをクリックして、利用者番号とパスワードを入力してください。

研究室などから sftp のソフトでファイル転送する場合は、ファイルサーバ(file)の代わりに並列コンピュータ( [gen.cc.tohoku.ac.jp](http://gen.cc.tohoku.ac.jp) )に接続するようにしてください。

この他、利用者の携帯端末(ノートパソコン)をセンターに持ち込んで、印刷ファイルを転送することも可能です。利用者入出力室のイーサネットジャックおよび無線 LAN システムの使い方については、大規模科学計算システムのウェブサイトをご覧ください。

#### (5) 印刷ファイルをプリンタに印刷する

印刷ファイルの印刷は、利用者入出力室にあるプリントサーバで行います。印刷方法は、プリントサーバにログインして、次のコマンドを入力してください。

##### lp 印刷ファイル名

詳しくは、プリントサーバのそばに置いている「大判カラープリンタ出力操作説明書」をご覧ください。プリンタは、印刷が終わると、自動的にカッターで紙を切り取り、用紙受けに紙を排出します。なお、くれぐれも、印刷中にプリンタのカバーを開けないでください。(開けると印刷が中断します。)もしも、印刷を途中で取り消したいときには、プリンタの操作部にあるキャンセルボタンで取り消せます。

### 3．おわりに

本稿では、Windows アプリケーションで作った文書を拡大して印刷する方法を説明しました。今回プリントサーバを更新しましたので、以前使っていたプリントサーバよりも処理スピードが速くなり、プリンタへのデータ転送も早くなりました。より使いやすくなりましたので是非ご利用ください。